

新規就農者向けイチジク栽培講座

「いちじくスクール」開校式

6期生2人が新たに入校 苗木植え付けも



JA西三河は4月8日、新規就農者向けイチジク栽培講座「いちじくスクール」の開校式を開きます。今年度は新たに6期生2人が加わり、昨年度より継続して栽培を学ぶ5期生2人と合わせて合計4人が受講。受講生は今後1年間、座学研修やいちじくスクール園地での剪定・防除・収穫の実習を通してイチジク栽培を学びます。

2015年の開校以来、2019年度までに48人が受講。うち16人が専業農家として部会へ加わり、作付面積は262㍍に増えました。スクールからは30代から40代の若い世代の新規就農者を毎年送り出しており、産地の維持・活性化に貢献しています。

■ いちじくスクール開校式 ■

【日時】4月12日（木） 9:30～

【場所】JA西三河 小牧センター

住所：西尾市吉良町小牧梶見堂3

TEL：0563-35-0246

★開校式の終了後、吉良町地内の生産者ほ場へ移動し、イチジク苗木の植え付けを行います。



スクール新入生による苗木植え付け（昨年4月）

産地を支える「いちじくスクール」 新たなチカラ続々と

果樹としては珍しく、苗木の植付から2年で収穫でき、3年目には成木並みの収量を得られるイチジク。また果実が軽量で作業負担が軽いことから、新規就農者にも取り組みやすい作物です。

この特長を生かして、定年帰農者を含む新規就農希望者を取り込み、産地の維持拡大につなげようとJA西三河がJAあいち経済連が2015年度から開始したのが、この「いちじくスクール」。

イチジク専門の新規就農者向け講座は珍しく、西尾市外から受講生が集まっています。 雨除けハウ

ス栽培と露地栽培の比較対照、イチジクと組み合わせで別作物を栽培する複合経営の提案・栽培指導などを行っている点も特色です。



↑8月から11月にかけては
ほぼ毎日収穫実習に取り組みます



【お問い合わせ・ご連絡先】

JA西三河（西三河農業協同組合）

〒445-0073 愛知県西尾市寄住町下田15 企画室企画課 広報担当：尾形怜美

TEL：0563-56-5214 担当者携帯：070-1414-6818

HP：http://www.ja-nishimikawa.or.jp/ Eメール：kikaku@ja-nishimikawa.com

※ このニュースリリースは、西尾市の記者室在籍報道機関あてに発出しています。
また、同内容をJA西三河ホームページの「報道機関向け資料（ニュースリリース）」ページにも掲載しています。

日本有数のイチジク産地

～『西三河いちじく』ブランドの周知図り、地産地消にも全力～

■西三河地区は日本一のイチジク産地！

全国で約13,000トンを生産されているイチジク。**愛知県は収穫量2,000トンを誇る日本有数のイチジク産地です。中でも西尾市を含む西三河地区は、生産の中心地となっています。**

1965年頃より、水田の転作作物としてイチジク栽培が本格化。西尾市のイチジク生産者で組織する「JA西三河いちじく部会」は、JAあいち中央・JAあいち豊田・JAあいち三河のイチジク生産部会とともに組織する「西三河いちじく部会」の一員として、全国一のブランドを確立。西三河地域から約800トン（2019年度）ものイチジクが出荷されています。

地産地消と地域農業活性化につなぐため、地元のパン屋とコラボした商品開発にも取り組んでいます！



露地イチジクを使用した「いちじくタルト」



イチジクの選果風景
パート選果員が品質をチェックする

イチジクを利用したゼリーやジャムの加工品の販売も



■西尾市のイチジク生産

「JA西三河いちじく部会」では、8.3%ものほ場でハウスイチジクと露地イチジクを生産しています。露地イチジクが最盛期となる8月中下旬には、1日当たり約10,000パック（1パック380g）を収穫。

約半数がJA小牧センター、残り半数が安城市にあるJAあいち経済連パッキングセンターで等階級別に選果。主に関東・中京・北陸方面へ出荷しています。

【産地情報】

生産者部会の名称：JA西三河いちじく部会

部会員数：52人

栽培面積：約8.8%（うち成園7.8%）

生産量：172トン（ハウス19トン・露地153トン、2019年度）

出荷時期：（ハウス）3月下旬～8月上旬（露地）7月下旬～11月上旬

販売額：1億5,000万円（露地・ハウス合計）

出荷先：主に中京市場・京浜市場

出荷品種：「榊井ドーフィン」

「西三河いちじく部会」を通し、4JA共販で京浜地域（60%）・中京地域（25%）・北陸地域（15%）へ出荷

全国の収穫量：12,967トン

愛知県の収穫量：2,008トン（全国2位）（1位和歌山県：2,278トン、3位兵庫県1,086トン）

うち、西三河いちじく部会の生産量：約800トン（2019年度）

データ参照：

農林水産省 平成29年産特産果樹生産動態等調査 特産果樹生産出荷実績調査 種類別栽培状況（都道府県）かんきつ類以外の果樹【落葉果樹】https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/tokusan_kazyu/index.html